

# 【農業生産の振興（生産流通対策）】

## ～ たむらの農産物出張販売の取組み～

### 1 地域の概要

田村地域は、阿武隈高地の中央に位置し、郡山市まで約30km、福島県の中通りにあつて浜通りとの結節点となる地域にある。気候は、年間の気温較差が大きく、降雨・降雪量は少ない表日本内陸山間型となっている。地域では葉たばこ、水稻、野菜、畜産等を組み合わせた複合経営が主体である。

### 2 組織の概要

名称：いきいきたむら産直ネットワーク推進連絡協議会

組織構成：田村管内農産物直売所8直売所及びその会員（約350名）

設立年月日：平成13年2月12日

### 3 取組みの契機、内容

産直ネットワークではこの2年間（平成18、19年度）、県の事業を活用して消費者との交流を中心とした活動を行い、田村管内での農業体験や直売所巡り、イベント型の展示販売を行ってきた。

今年度は、満を持して「お客さまを待つ」から「消費地へ出向いて」の出張販売を通じたPR活動を行うこととした。

なお、当初計画は3回目までの実施であったが、好評を得られたため、追加で4回目を郡山市中心市街地で開催することとなった。

＜産直ネットワーク出張販売の実施＞

- |     |         |   |
|-----|---------|---|
| 1回目 | ・開催日時   | 平成20年7月19日（土）15時～17時                        |
|     | ・開催場所   | セブンイレブン郡山美術館東店 駐車場                          |
|     | ・開催内容   | ネット8直売所による田村の産品PRと販売<br>買い上げ金額により田村の産品プレゼント |
|     | ・主な販売品目 | きゅうり、かぼちゃ、人参等                               |
| 2回目 | ・開催日時   | 平成20年9月27日（土）14時～17時                        |
|     | ・開催場所   | セブンイレブン郡山美術館東店 駐車場                          |
|     | ・開催内容   | ネット3直売所による田村の産品PRと販売<br>豚汁の試食（200食）         |
|     | ・主な販売品目 | ピーマン、玉ねぎ、各種切り花等                             |
| 3回目 | ・開催日時   | 平成20年10月4日（土）14時～17時                        |
|     | ・開催場所   | セブンイレブン郡山美術館東店 駐車場                          |
|     | ・開催内容   | ネット5直売所による田村の産品PRと販売<br>豚汁の試食（200食）         |
|     | ・主な販売品目 | りんご、なし、各種野菜等                                |
| 4回目 | ・開催日時   | 平成20年12月7日（日）10時～18時                        |
|     | ・開催場所   | イオンタウン郡山マックスバリュ郡山店                          |
|     | ・開催内容   | ネット5直売所による田村の産品PRと販売                        |
|     | ・主な販売品目 | 大根、ちぢみほうれん草、ナツハゼ米粉ロールケーキ等                   |

#### 4 取組みの効果

- ① 直売所に陳列して行う販売ではなく、生産者が直接消費者に手渡しで販売したことで、農産物の特徴や食べ方等を直接説明でき、またお互いの情報を交換し、人との出会いやふれあいができたことは、売上金の額よりも大きな成果となった。
- ② 会員の直売所が数カ所集まっての販売となるため、他の直売所を見ることができ、会員の刺激となった。
- ③ 地元での販売と違い、売れる品目や売りやすい量目に違いがあること、高齢化や家族数の減少等も考慮しての販売方法が今後必要であることがわかった。

#### 5 国、地方公共団体等の施策支援との関わり

県：地域づくり総合支援事業（サポート事業）

#### 6 現在の問題点及び今後の改善方向

安全・安心な農産物が求められている現在、直売所で販売する農産物であるからこそ、適正な栽培方法と栽培履歴の確実な記録が生産者に求められていることを真摯に受け止め、生産者としてさらなる研鑽が必要である。

また、直売所が多数誕生する中で、各直売所の特徴付けが必要であり、新品種の栽培やなつはぜ米粉ロールのような特徴ある特産品開発が今後重要と思われる。

今年度の出張販売により、金額的には大きなものではなかったが、人との交流や情報の交換は、直売所会員にとって大きな刺激となった。サポート事業は終了となるが来年度も引き続き、出張販売を事業計画に取り入れることとしている。



セブンイレブン郡山美術館東店での販売風景(左:7月19日 右:10月4日)



豚汁試食風景



イオンタウン郡山マックスバリュ郡山店での販売風景